

古民家の野外博物館

# 日本民家園だより

昭和62年度 第1号

《通号第8号》

発行 62・5・1

川崎市立日本民家園

川崎市多摩区研形 7-1-1

電話 (044)922-2181 (代)

## 古い住宅の形式や手法が見られる旧江向家住宅

- 旧江向家住宅
- 国指定重要文化財
- 合掌造民家 切妻造り庇付き茅葺
- 平面積 154.64㎡  
(46.9坪)
- 旧所在地 富山県東砺波郡上平村細島1043
- 昭和41年7月 江向幸次郎氏より川崎市に寄贈
- 昭和42年11月 解体
- 昭和43年3月 移築復原工事完成
- 昭和44年3月 国の重要文化財に指定



旧江向家住宅

### ◆ 越中五箇山の民家

江向家のもとあった上平村は富山県の庄川上流の山間の村で、いわゆる五箇山地方に属しています。18世紀初期の建築で今から約250年前の妻入りの合掌造り民家です。

五箇山と白川郷に分布する民家は、特異な外観をもち、ふつう合掌づくりと呼ばれています。

屋根の形は両端三角形の破風を大きくみせた切妻造りで、柱も太く、建物の材の加工には手斧ややりがんななどの古い工具が用いられてい

ます。

佛間が著しくせまく未発達段階にあり、鴨居と敷居の間の内法が低く、寝室の入口の敷居を一段と高くした帳台構という装置にしてあるなど古い住宅の形式や手法が見られます。

### ◆ みどころ

- 帳台構
- 佛間
- 急勾配の大きな屋根
- 戸口の代りにした2階妻部分の明かり窓
- 物置にした屋根裏の階層

# 20周年を迎えた本園の課題

日本民家園は、古民家の野外博物館として、昭和42年に開園。当初は川崎市内の旧伊藤家・旧清宮家、富山県の旧野原家の3棟でスタート。その後着々と発展の途をたどり、現在で21棟の復原が実現しています。

当面の課題は、棟門、古民家1棟の復原計画のほかに、野外博物館としての機能拡充を図るための本館が必要とされています。

次に、年間訪れる約15万人の来園者のサービス向上と広報対策について、既に休憩所の改善、古民家解説シリーズの作成等を実施しましたが、本年度にスタンプの充実、古民家解説補助員、各部屋説明板の設置を予定しています。また、児童・生徒用の学習資料や一般用ガイド・ブック等の作成も必要視され、広報面では民家園まつり等学芸活動の充実、だより、ポスターの増刊等によりPRを強化し生涯学習、余暇の善用のため広く親しまれる園の充実を念願しています。



出口付近から東北・神奈川の村を望む  
(向って左から清宮・北村・菅原家住宅)

開設20周年記念

## 日本民家園まつり行事案内

### (行事のご案内)

#### ◆第5回日本民家園まつり<期間5/1~31>

日程は右表のとおり

＝自由参加行事・文化映画会・各種展示など＝

- 民俗芸能公演<5/17雨天順延5/24>

歌舞伎舞台で公演のみ観覧の方は、無料です。

#### ◆民家に学ぼう会 ―春季講座― <5/31>

古民家に関する一般的な基礎知識を学び、園内の民家について実際に見学・解説します。

#### ◆文化財映画会 <6/14・6/28> ①10:30

白川郷の家 学習室・参加自由 ②13:30

#### ◆体験学習 ―郷土玩具作り― <7/30>

『竹細工』(水鉄砲・竹製ケン玉を作ります。)

当日 入園された方で希望する人(先着順・無料)

### ◀ 年中行事 ▶

#### ◆端午の節句 <5月中>

武者人形飾り・鯉のぼり(旧北村家住宅にて)

行 事	期 間 (実施日)	内 容	備考
写真でみる 20年のあゆみ	5/1(金) ~5/31(日)	園の歩みをパネル展で (移築・復原と学芸活動)	有料入園 (大人300円 小人100円)
民具に学ぶ (ワラ (竹)	5/1(金) ~5/31(日) →	各地方の民具展示	
	5/10(日) 5/17(日) → 5/24(日) 5/17または24日	ワラ民具の着用体験 手づくり民具	
文化(財) 映画会	5/3(日) 5/5(火)	文化的内容の映画 ①10:30~②13:30~	
古民家のみどころ ―見学と解説―	5/10(日) 5/31(日)	園内古民家を紹介	
こども写生会	5/3(日)~5(火) 5/10(日)	園内スケッチ(自由参加)	
スケッチ展	5/15(金)~31(日)	出品絵画を園内展示	
民俗芸能公演	5/17(日) 午後1時から ※雨天の場合 5/24(日)に順延	(別掲のとおり)	観覧のみ無料

# 民俗芸能公演へのお誘い!!

恒例となりました  
“日本民家園まつり”  
は5月1日から31日  
までの1カ月間、開  
催することになりま  
した。

期間中は、「民俗  
芸能の公演」や、「写  
真で見る20年の歩み」  
「子ども写生会」「古  
民家のみどころ解説」  
などの行事を企画し  
ております。この催  
し物のうちのメイン  
イベントは5月17日  
(雨天の場合24日)



面芝居・相模里神楽保存会 (厚木市無形文化財)

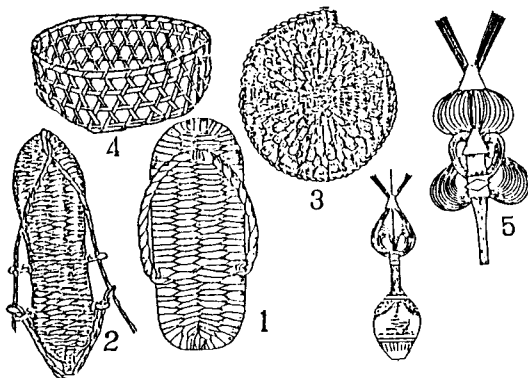
午後1時15分から行なわれる民俗芸能の公演です。今年の出演団体は、高津区諏訪神社保存会のお囃子。宮前区初山の菅生神社で毎年秋の祭礼のときに舞う剣獅子・巻獅子・玉獅子の一人立ち三頭獅子舞の初山獅子舞保存会(市指定無形文化財)。同区土橋に伝えられている万作踊「土橋万作踊保存会」の市内の団体に加えて今年が20周年を迎えることから特別芸能公演として相模里神楽保存会による面芝居 題名 源三位頼政鶴退治=菖蒲の舞を公演していただきます。

面芝居：明治の中ごろから、相模の神楽師の間で、神代神楽のほかに民衆の趣向に合わせて面をつけた芝居を演ずるようになり、農村の人びとに新しい楽しみを与え、各地の神楽師が競って演ずるようになりましたが、戦後はすたれ、今は相模神楽保存会のみとされています。

## 展示のご案内

民技会では、年2回の民具展示会を開いております。1回は年度末の会員作品展で自由出品の展示です。もう一回は民家園まつりの展示会で、これは一つのテーマを設けております。今年は5月1カ月間、作田家において「民具のつくり方パネル展示」を行ないます。右の図のようにぞうり①、わらじ②、円座③、カゴ④、お神酒のクチ⑤などを作る順序に従ってパネルにしたものです。一つの民具が出来上っていく様子をご覧ください。

## 民具製作技術保存会 = 行事から =





# 投書箱から

入園者の皆様から寄せられたご意見・ご要望ありがとうございました。今回分の中からいくつかをご紹介し、園からのコメントを申しそえます。今まで皆様から多くの建設的なご意見・ご感想をいただき本園の管理・運営面の改善上大変参考になりました。今後もよろしく願います。

## 投書から

- ◆ 休憩所を東北の村につくってください。
- ◆ 室内のほこりや傷みが気になりました。生活の場の整備が必要な気がします。
- ◆ 各家の入口土間部分が、へこんでいますので改善をして欲しい。
- ◆ 旧船越の歌舞伎舞台の奈落が見られるようにしてください。
- ◆ スタンプを新しく作りかえて欲しいことと、絵はがきをつくって売って欲しい。
- ◆ なんども来ましたがとても勉強になります。今の時代では昔のことを知る事ができないので、民家園へくるとよく解ります。また、友だちと来たいと思います。

## 園からのコメント

- ◇ 現在、出口にベンチが1カ所ありますが、できるだけ早く増設をするようにします。
- ◇ 室内の清掃・整備には気を配っていますが更に努力します。
- ◇ 土間の整備については、できるだけ早く直します。
- ◇ 舞台奈落の見学については、整備をし見学できるようにしたので、ご覧ください。
- ◇ スタンプは近々に新しくし、数も従来の1カ所から5カ所に増やし、絵はがきの販売は、一度実施したことがあります。内容面・販売面等をよく検討したいと思います。
- ◇ 昔を知るための資料も数多く展示してありますので、多いに活用してください。

## ----- 民家園の人気もの パンダウサギ -----

入園していただきますと、先ず目にとまるのは番犬(?) パンダウサギです。昨年の8月末に学校も夏休みが終りに近いある日、民家園の前に二羽のウサギが捨てられていました。その中の一羽は10日間ほ

どで死亡し、生き残ったのはこのパンダウサギが一羽、今では民家園の大人気ものとなり来園される方へのサービス精神、茶目っ気ぶりを発揮しては可愛いがられています。今年は雪舞う日が多く健康にちょっと心配しましたが元気で春を迎えることができました。ご入園の際

には、わが園のアイドル、ウサちゃんも、民家園と同様によりしく願います。

## 編集後記

日本民家園だより 第1号をお届けいたします。

新緑が鮮やかに感じられる、きょうこの頃です。日本民家園は、本年開園20周年を迎えることになりました。

園ではこれを記念して盛りだくさんの催しを計画しております。とくに5月いっぱいはいは…「民家園まつり」と銘うって数々の事業を行ないます。ぜひ皆様のご来園をお待ち申し上げます。

